

## 2グループで具体策 マネカレと 合同就職説明会

当面の重要課題となっている第4回遊技産業マネジメント・カレッジと合同就職説明会について、2つのグループに分かれて話し合った。マネジメント・カレッジのゲスト講演者に(有)てっぺん代表取締役、大嶋啓介氏が決定したことが報告された。大嶋氏は居酒屋「てっぺん」(東京・自由が丘などに4店)の創業者で、自店の「公開朝礼」はメディアで広く取り上げられている。居酒屋業界の活性化のためにNPO法人「居酒屋甲子園」を

設立し、初代理事長として活動している。マネジメント・カレッジの日程は9月9～11日の3日間で、埼玉県熊谷市のホテル・ヘリテイジと嵐山町の共生の森で行われる。合同就職説明会のWEBサイトについて、(株)リクルートが提案したトピックスのデザイン案などを検討した。

### 経営改革

### 委員会

6月8日  
本部会議室  
出席委員等18人

## 周知徹底へ意見交換 廣田課長指摘の「二物一価」

警察庁、廣田耕一保安課長が日遊協第21回通常総会(6月3日)の講話で、「今後一層の協力、対応」を促す事項として、賞品取り揃えの充実とともに等価交換の規制に触れたことが報告され、これを受けて一物一価の周知徹底について意見を交換した。同課長は講話で、

「同じ賞品でありながら、遊技球の数量と対応する金額、遊技メダルの数量と対応する金額との間に差異が設けられたり、遊技料金によつて遊技球やメダルの数量に対応する金額に差異が設けられるなど、等価交換の規制に抵触すると認められるものがある」という話を時折聞く」と指摘、「等価交換の原則

は遊技球等の数量に対応する金額よりも高価な賞品を提供するようになる」と、射幸心をそそる恐れがあるということから置かれている飯にこのような営業実態があるとすれば、違法営業をしている店との間に不公平感を生み、またお客様も不公平感と不信感を持つだろう」と述べた。

## 第4回遊技産業マネジメント・カレッジ参加者応募要項

遊技産業の新しいリーダーの養成をめざして、左記の要領で、「第4回遊技産業マネジメント・カレッジ」を開設します。参加者を募集します。

対象は遊技産業に携わる中堅管理者で、ホールは店長、マネージャー級、メーカー・販社等は部長級とします。2泊3日の合宿形式で、最初の2日間はグループワーク、講演、業界のリーダーとの意見交換、3日目は共生の森での社会貢献活動で構成します。遊技産業が直面する課題を共有し、産業の発展に貢献した先輩たちとの意見交換を通じて優れた「DNA」の継承をめざします。若いリーダー同士の人脈形成に大いに役立つと期待されます。

【主催】(社)日本遊技関連事業協会・明日の産業創造室・人材育成委員会

【主題】「今、必要とされる真の顧客視点とは!!!」

【日程】平成22年9月9日(木)～11日(土)

【会場】ホテル・ヘリテイジ(埼玉県熊谷市)と共生の森(同県嵐山町)

【募集人員】60人

【参加費用(1人)】①日遊協会員2万円 ②会員以外3万円

【申し込み締め切り】7月30日(金)

【申し込み方法】会社ごとに参加希望者をまとめ、

申込書(日遊協ホームページからダウンロードできます)に

必要事項を記入し、FAX(03・3553・4334)で送信して下さい。

【参加受付】原則として先着順  
受付後、日遊協本部から参加者証、請求書、アンケート調査票(参加者の考え方を簡単に確認し、グループ編成の参考に)を送付いたします。

### 開催概要と募集要領



ウェブサイトについて検討する人材育成委員会

広報委員会

次回のたたき台作りへ  
論文・作文  
コンクール

6月10日  
本部会議室  
出席委員等14人

今秋、募集を予定している第10

回パチンコ・パチスロ論文・作文コンクールについて、コンクールのあり方を含めて意見を交換した。第9回の応募数は一般の部273編、業界の部473編、計746編で、第6回(07年発表)以降、毎回700編以上の高水準を維持しているが、マンネリ化の恐れも出ている。コンクールのこれまでの歴史を踏まえた上で、バリエーションを工夫したらどうかという意見が出された。今後、小人数形式でテーマを含めてたたき台をつくり、その間月1回の委員会にも諮りながら、8月ごろまでに第10回の方角性を出すことになった。

テーマ、応募内容など討議

「もっとパチンコの楽しさを伝える作品を読みたい。川柳などがベターだと思つ」「『論文・作文』という呼び方、『一般・業界』の区分け、各部に2つずつのテーマ、



論文・作文コンクールで協議した広報委員会

いずれも再考の余地がある」「業界一般の垣根をなくし、同一テーマでフリーにそれぞれの立場から書いてもらったらどうか」「業界の部は473編集まったが、実際に参加しているのは15社だ。社員教育の場として100名以上が応募してくる社もあるが、現状は業界がこぞって参加する形にはなっていない」「優秀作品の作者たちとの座談会のようなものがあってもいい。作者にもっと表に登場してもらって、意見を業界の人たちや社会に聞いて

研修の概要

【第1日】9月9日(木)  
13:00  
開校式  
オリエンテーション等  
13:15  
グループワーク

【第2日】9月10日(金)  
9:00  
グループ・ワーク  
14:30  
プレゼンテーション  
16:00  
講演

(有) てっぺん代表取締役  
大嶋啓介氏  
18:00  
第3期高原の風の成果発表  
18:30  
懇親パーティー・交流会等  
開校式

【第3日】9月11日(土)  
9:00  
共生の森での社会貢献活動  
(下草刈りなど)  
12:30  
昼食・閉会

※9月9日(木)、10日(金)のみの参加も可能です。

てもらおう仕組みがほしい」等の指摘があった。

遊技機開発  
委員会

6月18日  
本部会議室  
出席委員等22人

ファンアンケート  
41問の内容を確定

ファンの目ごころの遊技活動や意見、要望を聞かせてもらい、今後の業界の取り組みや行政への働きかけに反映させるため、日遊協が毎年行なっている「パチンコ・パチスロに関するアンケート」の質問内容が確定した。調査は7月に全国の会員店舗の協力を得て行なう。8月中に速報を出し、9月中に全

体をまとめて発表するとともに、来年2月ごろに予定される「開発機試打会及びヒアリング会」の参考にしたいとしている。

調査はこれまでと同様、ファンとホール社員との対面方式で行われる。今回の質問数は協力ホールの負担を考慮して、昨年並みの41問となった。内容は、遊びに要する金額、時間、プレー歴、ホールへ行く目的、満足感、パチンコ・パチスロそれぞれでのプレーの実態、低貸玉・メダルについてなどとなっている。

これとは別に、新規ファン獲得のため、ノンプレーヤーを対象にした体験調査を実施する計画で、「新規ファン創出のための調査票」の素案が出された。パチンコをしない人たちがパチンコ業界に対して持っているであろう負のイメージ払拭が1つのねらいとなっている。来年2月ごろに予定される「開発機試打会及びヒアリング会」のため、パチンコ、パチスロの2チームに分かれて方向性を協議した。



ファンアンケート調査の質問内容を固めた遊技機開発委員会

## 詳しいレジュメ作りなどの不正対策勉強会

不正対策勉強会の今後に向けての改善点について、6月11日に東京会場（中央区東日本橋、東実健保会館）で行ったアンケートの回答をもとに、3グループに分かれて話し合った。

3グループに分かれて討議した遊技機健全化委員会



では可能な範囲で詳しい内容にするとともに、前の開催会場での意見を吸い上げてバージョンアップを図りながら資料を改善していくことを決めた。

また、講演内容への注文では、「ゴトを発見した際の対応策、事前の抑止策など、ハウツー主体にシフトしてほしい」「実機の数が少なく混雑して体験できなかった」、今後取り上げてほしいテーマでは「内部の人間を不正に誘い込む手口」「ゴト師が嫌うホールのつくり方、カメラ配置、巡回の仕方などの環境づくり」「誤差玉の対応」などが挙げられていた。

もっと詳しい資料にしてほしい」という声が強かった。これを受けて、以後の会場

ため、日遊協は関係団体の協力を得て全国で店長等講習を行っているが、使用するテキスト「店長能力開発講座」の全面刷新が図られ、6月9日広島市で行われた講習で初めて刷新版が使用された。ただ、

目下は仮テキストの段階で、日遊協では今後7月14日（札幌）、同28日（東京）、9月3日（福岡）、10月1日（大阪）の各講習で引き続き使い、手直ししながら完成させる。

これまでのテキストは平成5年に発行され、13刷まで増補改訂された。しかし、最近では会員各社で行っている講習がテキスト内容に近くなり、講師もテキストに拠らずに独自に内容を工夫して講義する例が多くなったことから、明日の産業創造室が新テキストの作成を進めてきた。

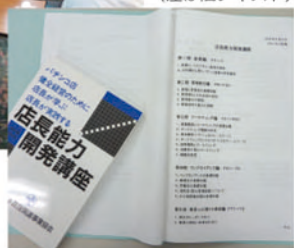
新しいテキストの内容は、産業篇（業界の現状、将来展望等）、管理能力篇（基礎知識、管理能力開発、指導・育成能力開発、職場活性化能力の開発等）、マーケティング戦略篇（マーケティング戦略形成、競争戦略とマーケティング、消費者行動のマーケティング、戦略的発想等）、コンプライアンス篇（風営法・労基法・その他の関連法規の基礎知識、労務

### 店長等講習・試験

### 講座内容を全面刷新 新しいテキストでできる

パチンコホールの運営を経営者（会社）から任された店長や店長候補者に、健全な営業に資する心構え・知識・技能等を身につけてもらう

新テキストの目次（左は旧テキスト）



新テキストを使った  
広島市の店長等講習

管理等）、業界人の誇りと使命感（明日のリーダー、業界の明るい未来のために）などとなっている。

## 10月1日、大阪で

日遊協は10月に大阪市で店長等講習を予定、参加者を募集している。日遊協会員に限らず受講を歓迎する。  
〔大阪会場〕 10月1日（金）  
大阪ガーデンパレス

午前10時開始、午後5時前終了。受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は日遊協事務局に申込用紙を請求する。定員に達すると締め切る。

### 日遊協事務局

電話 03・3553・4333 (代)  
FAX 03・3553・4334

## 不正対策勉強会スタート

# 講演3時間と実機体験で 「ゴトの体験は大切」と深谷会長

最新のゴト事犯の実態と対策をホールなど最前線に働く人たちに周知してもらい、コンプライアンス営業の向上を図ってもらうための不正対策勉強会が、6月11日に東京・東日本橋、東実健保会館で、23日に名古屋市・愛知県水産会館でそれぞれ開かれた。

東京会場では230人が受講した。冒頭、庄司東京都・関東支部長が「お客様を守るといふ意味で、こうした勉強会を重ねることは大切だ。ゴト器具に実際に触れて、どしどし質問しながら体験してほしい」、深谷会長は「疑いを感じたときに判断し対策を打つスピー



不正対策勉強会は、今年も東京からスタートした

ドは、こうした勉強会を体験しているのといかないのでは違ってくる。この勉強会を自店の経営のプラスにしてほしい」とそれぞれ挨拶した。(株)コスモローム研究所社長、南光國昭氏が動画を使って最近のゴトの傾向、進化し続けるゴト手口などを、休憩を含む約3時間にわたって講演した。

また、同月23日の名古屋会場では約140人が受講した。2つの会場ではパチンコ、パチスロの実機7台と最近のゴト器具が展示され、受講者たちは講演前や休憩時間に手にとって器具を操作し、実体験していた。



遊技機の中を点検し、ゴトの実際を知る

不正対策勉強会はこの後、7月6日に福岡市(博多サンヒルズホテル)、同7日に広島市(広島ガーデンプレス)、同9日に大阪市(大阪国際交流センター)、10月28日に札幌市(コンベンションセンター)でのそれぞれ開催が予定されている。

### 貯玉補償基金

## 加盟増で大きな実績

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・深谷友尋日遊協会長)は6月4日、東京・グランドアーク半蔵門で定時社員総会を開き、第4期(09年4月1日~10年3月31日)事業報告及び計算書類を承認した。事業報告によると、加盟店数は09年3月末現在2822ホールだったが、10年3月末現在では3567ホールと大幅に増加し、体制強化財源強化を確実に推し進めたとしている。なお、5月末現在では3700ホールに増えている。

### 不正対策室会議

## 入力情報は754件

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は6月9日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO(遊技産業不正対策情報機構)

の入力状況の報告やゴトや不正情報の討議が行われた。5月のPSIOの入力数は、754件で昨年同期に比べ88件増えている。一般ファンからの情報は483件で昨年比プラス42件と相変わらず高い水準を示している。一般からの情報には、ホールに対する不信感からくるものもみられるが、固定ハンドルや子供の入場容認など誰が見ても、ただちに改善される必要がある情報も最近増えていることが報告された。

### 登録資格審査委員会

## 新規11、更新66を承認

遊技機販売業者の平成22年度第1回登録資格審査委員会(委員長・深谷友尋日遊協会長)は6月7日、日遊協会議室で開かれた。新規登録申請11業者(全商協関係5、回胴遊商関係6)と、更新登録申請69業者のうち66業者(全商協関係40、回胴遊商関係25、日電協関係1)を承認した。

更新登録申請をした残りの3業者(全商協関係2、回胴遊商関係1)は、過去1年間の販売実績が300台を満たさないため保留(今後1年間の実績を見守る)とした。